

令和 5 年度 研究部事業報告用紙

特別活動

部

(1) 経過報告

	月 日	曜日	内 容	会 場
1	4/25	火	特別活動部小委員会	磐周教育研究所
2	6/5	月	特別活動部小委員会	磐周教育研究所
3	7/4	火	特別活動部小委員会	磐周教育研究所
4	7/28	金	磐周教育研究講座特別活動部	見付交流センター
5	9/29	金	特別活動部小委員会	磐周教育研究所
6	12/5	火	特別活動部小委員会	磐周教育研究所
7	2/15	木	特別活動部小委員会	磐周教育研究所
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				

(2) 反省及び磐周全体に関する課題と改善策

(各研究部の人数・参加者の研修意欲・研修方法について等、いろいろな視点で振り返りをお願いします。)

今年度は研究講座を実施し、静岡県レクリエーション協会の青野先生をお招きして、学級活動やエンカウンター、人間関係づくりを目的にレクリエーションの研修を行った。当日は特別活動部のみならず、他の研究部の先生方にも参加していただいたが、昨年度の研究講座よりも参加者が少なかったため、魅力をどう発信していくかが大事であると感じた。

地区の研修では、静教研の研修テーマでもある「つながる、ひろがる、特別活動～互いのよさや可能性を発揮し、よりよい生活を築く集団活動を通して～」を受けて、特別活動に位置付けられる行事や実践等の情報交換や共有を行った。各学校においても特別活動は様々な面で「要」として位置付けられており、コロナ対策で形を変えながらも実施されている学校行事や教育活動において、何を目的とし、児童・生徒にどのような資質・能力を身に付けさせたいのかを明確にして、再考していく必要があると考える。現在各地区研修で行っている各校の実態把握や情報の共有を今後も継続して行っていく。